

## 企画書G

企画名	アジアの海をつなぐ風 ——伽耶琴とオルガンの夕べ—— (仮称)
授業内の位置づけ	新奇創出的なコンサートの運営
開催時期・場所	2008年11月21日(金) 19:00~21:00 西南学院大学博物館2階 講堂 (約260席。福岡市の主要交通機関からアクセス良好でパイプオルガンを備える。)
主催	「伽耶琴とオルガンの夕べ」(仮称) 実行委員会
共催(申請中)	西南学院大学国際文化学部、西南学院学外連携推進室
後援(申請予定)	西日本文化協会・日本音楽表現学会・福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団・毎日新聞社・読売新聞社・朝日新聞社
企画趣旨	上演芸術事業の運営を学ぶとともに、音楽芸術の新たな表現領域の創成に参画する。 文化的には、朝鮮半島と西洋の伝統的楽器を福岡の地で融合する試み。コンサートは、おおむね、第1部(伽耶琴とオルガンの伝統的楽曲)、第2部(この編成のために山本裕之が作曲した新曲)から構成する。新規創成領域であることから、今後、科目時間への出張講演や、外部向け「プレトーク」開催の可能性を探る。 貸館事業者の運営するホールでは、会場リハーサルの頻度・回数が多くなりがちなオルガン新曲初演は困難である。そうした中で、今回の試みを、学術団体が運営するホール(西南学院大学博物館講堂)ならではの取り組みとして、世に問う。
出演者・作曲家	金美香(伽耶琴)・・・京都出身。1989年に渡韓し、国立ソウル大学音楽学部国楽科卒業。演奏活動のかたわら韓国教育院などで韓国舞踊・伽耶琴を指導。 山崎箏山(都山流尺八)・・・第31回都山流本曲コンクールの優勝歴(2005)を持ち、吉田兄弟(津軽三味線)をはじめ国内外のアーティストと多数共演。 ミン・ヨンチ(杖鼓・奚琴)・・・韓国打楽器のユニットSANTA(散打)を主宰。 山本裕之(作曲)・・・1967年山形市生まれ。東京芸術大学・同大学院修了。ガウデアムス国際音楽週間'94(オランダ/1994)入選、現音作曲新人賞(1996)、武満徹作曲賞第一位(2002)、第13回芥川作曲賞(2003)、第51回神奈川文化未来賞(2002)などの受賞歴を持ち、現在、岩手大学教育学部准教授。 古賀智子(オルガン)・・・武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。ピアノを長谷川照子、山崎冬樹、大島ひとみ、伊達純の諸氏に師事。オルガンを木田みな子氏に師事。1981年グルノーブル夏期音楽大学修了。武蔵野会新人演奏会、神奈川県新人演奏会出演。以後、合唱・声楽など伴奏、公開レッスン、チャリティーコンサート、オルガンコンサートなどに出演。関東学院女子短期大学非常勤講師を経て、現在、捜真学院課外ピアノ講師。紅葉坂教会オルガニスト、音楽学会会員。
入場料(予定)	3,000円。